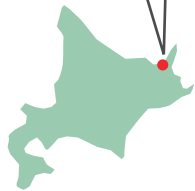


(1)の解答

知床(北海道)



ここがポイント!

テレビや新聞で大きく取り上げられていた話題ですので、日常からこうしたニュースに触れているかがポイントになります。ちなみに日本で世界遺産条約に登録されているのは、文化遺産が10件、自然遺産が3件の合計13件です(2005年12月現在)。日本と世界の優れた文化や自然を知るきっかけとして、世界遺産に注目してみましょう。適性検査でも出題されています。

(2)の解答例

町の発展によって、人間の住む地域が動物たちのすみかの近くまで広がった。さらに、観光客や人口の増加で、人間からエサをもらったり、人間の出すゴミを食べたりして、動物が人間に近い場所で活動するようになった。そして、日光のサルのように、人間を怖がらなくなったり、人間より強いと思ったりするようになった。そのため、動物が山から下りてきてしまっている。

ここがポイント!

複数の図表や地図、資料から答えを導き出すための練習問題になっています。町の発展、人口増加などはプラスの面だけではなく、自然環境への悪影響もあることを理解できているかがポイントです。子どもたちが、自然や動物との正しい共生のあり方を考えるきっかけにもなります。

(3)の解答例

動物が山から下りてこないようにするチームの場合

(理由)

山から下りてきてからのことを考えるよりも、下りてこないようにする方法を考えるほうが、根本的な解決になると思うから。

(具体的な活動)

早朝パトロール隊を作り、交代で朝のゴミ拾いなどをして、動物たちの食べ物になるようなものをなくすようにする。また、落ちていたフンなどを調べて、動物たちがどの場所によく現れるかを町役場の人に報告する。

ここがポイント!

自分が選んだ理由や、やりたいことを、簡潔に相手に説明できるかがポイントです。理由や具体的な活動については、今の町の状況を客観的に判断して、どんなことが必要なかを考えます。

観光客にマナーを守ってもらうようにするチームの場合

(理由)

町の人たちには動物にエサをあげてはいけないことが広まっているので、知らずにエサをあげてしまっている観光客に説明することが大切だと思うから。

(具体的な活動)

「動物にエサをあたえないでください」というポスターやチラシをみんなで作って、観光客が集まる駅、バス停、観光施設、観光案内所、ホテルなどにはったり配ったりして呼びかける。